



TCA

—NEWS—

Vol.102 5月号

発行 富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

CiCビル3F富山市国際交流センター内

TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643

発行責任者 広報・組織強化委員会

記念講演

交流ウィーク in TOYAMA
モーリー流 変わりゆく時代とのま
 講師 モーリー・ロバートソン氏



国際交流ウィーク

in TOYAMA

2月27日(日)～3月4日(金) CiC1F・3F (JR富山駅南)

共催(公財)とやま国際センター・富山市民国際交流協会
 協力(独法)国際協力機構北陸センター

国際交流フェスティバルの代替事業として、今回国際交流ウィーク in Toyamaを開催しました。オープニングの記念講演では、現在テレビで大活躍、富山にも縁のあるモーリー・ロバートソンさんにお話いただきました。ほかにも、ベトナムランタン作りや華道体験など様々なプログラムがあり、久しぶりの対面イベントに参加した人々は交流を楽しんでいました。また、オンラインでの交流プログラムもありました。韓国水原市の日本語学習者と富山市の韓国語学習者が相手の言語で市の紹介や情報交換を行ったり、ブラジル サンパウロ州第3アリアンサ(富山村)からは、嶋崎清会長にアリアンサの様子をお話いただき、ご自宅や周りの景色をライブで紹介していただきました。オンラインという新しい形の交流が始まったことを実感し、有意義な時間となりました。

◆プログラム◆

2月27日(日) 記念講演

- 華道体験・茶道体験・世界がもし100人の村だったら
- にほんごチャット・ベトナムランタン作り
- ことばのミニレッスン「オーストラリア英語」

2月28日(月) ブラジルとのオンライン交流

3月1日(火) インドヨガ

3月3日(木) 韓国旅行体験(ボードゲーム)

3月3日(木) 韓国水原市オンライン交流

3月4日(金) 英語による米国紹介



華道体験



茶道体験



にほんごを楽しもう!
富山弁レッスン

<展示>JICA海外協力隊写真展～世界のコマ～、富山県国際交流員出身国紹介パネル展、「私の好きな富山」写真展

令和4年度事業計画・収支予算等は、理事会で、議案第1号 令和3年度事業報告、議案第2号 令和3年度収支決算報告及び監査報告、議案第3号 令和4年度事業計画（案）、議案第4号 令和4年度収支予算（案）、議案第5号 理事の選任（案）は、原案どおり承認されましたので、次のとおり報告いたします。総会・講演会につきましては、密を回避するために従来の形式での開催は取りやめ、代表者に集まつていただく予定としております。

◆ 令和4年度 年間事業計画及び収支予算 ◆

1 理事会・総会・正副委員長会議等

(1) 理事会 (2) 総会 (3) 正副委員長会議

2 多文化共生事業

(1) 國際交流事業

①富山まつり「越中おわら踊り」に参加 ②国際交流フェスティバル2022 ③新春国際交流のつどい2023

(2) 日本語学習支援事業

①日本語指導クラス ②日本語ボランティアステップアップクラス③日本語ボランティア養成講座実践研修

(3) 外国籍児童・生徒への学習支援事業（勉強お助け隊）

(4) 防災のための体制作り

①災害時語学ボランティア研修②富山市総合防災訓練参加

(5) 外国語ボランティア養成講座前期・後期 各3回

(6) 観光サポーター研修支援事業

(7) 相談事業

(8) 私たちの活動説明会

(9) 児童・生徒のための英語講座事業

(10) ポルトガル語講座（MPBで学ぶ）

(11) 韓国語カフェ

(12) 国際交流関係会議等への出席

3 語学講座事業

中国語初級・韓国語初級 各週1回 1クラス30回

4 ボランティア登録対象の拡大

5-1 総務企画委員会

(1) 国内研修 (2) 国際交流 TCAカレッジ

5-2 姉妹友好都市委員会

(1) 海外研修 (2) 姉妹友好都市等訪問団員との交流会

(オンライン交流の推進) (3) 姉妹友好都市研究講座

5-3 文化交流委員会

(1) 日本伝統文化等の紹介 (2) 交流会 (3) 体験談を聞く会

国際交流ウィーク in TOYAMA

記念講演 モーリー流変わりゆく時代との調和

講師 モーリー・ロバートソンさん ジャーナリスト

モーリーさんは、高岡高校卒、東大とハーバード大を同時に合格した秀才で、現在ジャーナリストとして数々のテレビ番組でご活躍中です。今回は「モーリー流変わりゆく時代との調和」というテーマで、ホットな話題を中心に現在出演している「スッキリ」の裏話なども交えて講演されました。日本も安全保障上はウクライナと同様な状況であるとの警鐘を鳴らされ、これまでお互いを大事にするような意思決定をしてきたが、今後は不都合な事も冷静に話し合い、選択していく覚悟が必要になるということでした。独特な語り口で時にはユーモアを交えながらも、その指摘は日米両国に通曉した彼ならではの的を射たものです。

華道体験 講師 富永 幸子さん 田村 廉子さん

先生方の指導のもと、優しい香りがする春の花・ストックをメインに、スイートピーとドラセナ・ゴッドを活けました。華道体験は日本の伝統文化に気軽に触れられる機会として外国人・日本人問わず毎年好評です。

今回も皆さん思い思いの感性で、彩り豊かに作品を仕上げていきました。最後は作品を囲んで撮影をしたり、参加者同士で感想を語り合うなど楽しい交流も生まれました。



「世界がもし100人の村だったら」 講師 松山 優子さん JICA北陸 富山デスク国際協力推進員

世界の多様性や格差等を簡潔に表現している「世界がもし100人の村だったら」。そのワークショップ版は、体感を伴う更なるわかりやすさでした。

キーボードは、参加者が受け取る役割カード。ちなみに私は「アジアの住人」で「大人」、挨拶は「ニーハオ」。役割に沿って動くことで、SDGsの改善目標にもなっている様々な課題を実感できる。

例えば「人口密度」。いろんな長さのロープを輪にして床に置く。輪の大きさは、世界各地域の面積比を表す。その輪の中に、カードに示された住人が集まる。私が住むアジアはぎゅうぎゅう詰めなのに、お隣のオセアニアやアフリカはゆつたり。「アジアの人口密度は〇人/m²で世界一」と文字で示されるよりも一目瞭然だ。

「所得格差」では、ボールペンを全世界の富に見立てた。トップ集団が数十本のペンを占有し、他の4集団が数本～1本未満のペンしか持たないという格差の歪みを目で見ることでより強く感じることができた。

最後に、複数テーマで体感した気づきを、SDGsに繋げる糸口とする。スムーズな流れだった。

「日本語チャット」にほんごを楽しもう！ 講師 原 和子さん 日本語教師会ゆうゆう代表

「富山弁」レッスンや「俳句づくり」の他にアクションゲーム、災害用語漢字bingoなどのゲームをして交流しました。「ケーキたべつけ？一なあん、いらんちや」などの富山弁の会話で独特な言い回しやリズムを楽しく学び、「コートと紅茶と買うたちや」の早口ことばにも挑戦しました。俳句づくりでは「雪が降る 待ちくたびれた 好きな人」など、すてきな俳句ができ、日本文化としての俳句を共有することができてとてもうれしかったです。和やかで楽しく有意義なひと時となりました。

ベトナムのランタン作り 講師 ホアンティ チャムさん 富山県国際交流員



星形ランタンはベトナムならではのランタンの一種類で、旧暦8月15日の中秋節を迎える伝統的な活動である「灯籠踊り」でベトナム全国にわたって使われるそうだ。今回、ランタン作りに家族で挑戦してみた。すべての材料が必要な分だけ用意されていて、あとは指示に従って作っていくだけなのだが、なかなか思うようにはならず、周りの人がどんどん進んでいくのに焦りを感じる。でも講師の方が「大丈夫ですよ。」とやさしく励ましてくれて少しずつ形になっていたときの嬉しさ。そのうちに、本当に自分が作ったのかと思うように仕上がったときの驚き。2種類をつくることになっていて、最初はとてもじゃないが2つ目は無理だろうと思っていたのだが、両方とも完成して感動した。材料を用意し、指導してくださった講師に感謝したい。

ことばのミニレッスン「オーストラリア英語」 講師 ケリー グレイさん



オーストラリアは、他の大陸から離れているため、ユニークな動植物を見ることがあります。コアラやカンガルーが有名です。ワールドカップサッカーのオーストラリアチームのユニフォームの色、覚えてますか？緑と黄色、これは国花であるゴールデン・ワトルという、春に咲く黄色い丸い花と緑の葉からきているそうです。

この講義で一番驚いたのは動植物が独自の進化をしてきたように、オーストラリア英語が独自の進化、省略化が進んでいるということでした。100の単語を挙げて頂いたのですが、注釈がないと分からぬ單語ばかりでした。例えばbikkieがbiscuit、exyがexpensiveだそうです。文章になるとかなり難しいです。

最後はオーストラリアの第二の国歌と言われている、" Waltzing Matilda" を合唱して終わりました。オーストラリアにどっぷり浸かつた、内容の濃い楽しい1時間でした。

写真展「私の好きな富山/My Favorite Toyama」

TCAニュース100号記念特別企画の写真展示。富山在住の外国出身の方々が撮影した写真である。見慣れたはずの富山の風景や日常場面を、各国・地域の撮影者の視点で楽しんで頂けたら嬉しい。

写真公募時、「好き」の対象は景観・食べ物・日常風景等、富山のものなら何でも良いとしたが、応募の大半が景観の写真で、富山の景観は、国や地域を越えて人々の心を捉えるのだと再認識した。一方で、住宅街の景色や市街地の人工物と自然との調和、色彩のコントラスト等に惹かれて撮ったという視点も。

何を「好き」と思うか嗜好や感性には個人差がある。しかしその根底には、育った国や地域の歴史・文化・風習等に由来する価値観の影響もあるかもしれない。撮影者は9か国・地域の13人。多様な価値観を、写真から感じて頂けたらと思う。



MPB（ブラジルのポピュラー音楽）でポルトガル語を鍛えよう！ 講師：白川 セリナ サナエ（ポルトガル語相談員）

「これって80年代ロックですよね？」 2月14日（月）

去年学習したブラジルロック界の大御所Rita Lee（ヒタ・リー）が発掘した男性歌手Ritchie（ヒッチー）のMenina Veneno（イカした彼女）を歌った。緑色の瞳のカノ女が、夜な夜なある男の部屋を訪れる。それは男の頭の中だけの出来事。男は自分好みの夢の女のめり込むが、昼間のリアルの世界では全くの孤独。当時ブラジルではヒットしたというが、閉ざされた仮想世界でしか喜びを得られない主人公には、違和感がある。日本に限って言えば、80年代はバブルでイケイケの時代。リアルの世界にお楽しみが充満していたと私の（誤った？）記憶が反発するのです。

「お菓子の難間に、歌が吹き飛ぶ」 3月14日（月）

ブラジルの焼き菓子、BiscoitoとBolachaの区別について。前者は、乾燥タイプとしつとりタイプがあり、平たい形は少ない。語源はラテン語で「二度調理されたもの」。後者は、乾燥タイプで、大抵平たい。語源は「丸いもの」の縮小形。問題はその次だ。Biscoitoの例として示された画像は〈オレオ〉で、Bolachaの例は、〈マリー〉。〈オレオ〉はクッキーで、〈マリー〉はビスケットではないのか!?そもそもBiscoitoをビスケットと安易に結びつけた時点で混乱が始まっている。先生が「これはBolacha。丸くないけど（笑）」と配って下さったのは、まさかのチョコがけ源氏パイ。これぞとどめの一撃。

世界のことわざ

◆ ブラジル（ポルトガル語）編 ◆

白川 セリナ サナエ（ポルトガル語相談員） 日下 春美さん

もともとのことわざと、それを風刺的にじつはアレンジ編をいくつか紹介します。アレンジ編を実際にご利用いただいだ場合のトラブルにつきましては一切責任を負えません。ジョークとして個人的にお楽しみいただぐに留めることをお勧めします。

Não deixe para amanhã aquilo que você pode fazer hoje. 「今日できることを明日に延ばすな」

Não faça hoje o que você nunca vai fazer. 「この先もやらないことを今日やるな」

私たちがふざけて使う「明日でもできることを今日するな」より、もっとずっとやる気がない。今日はやらない。明日もやらない。ずっとやらない。

Quem ri por último, ri melhor. 「最後に笑う者が最もよく笑う」

Quem ri por último é de raciocínio lento. 「最後に笑うのは鈍いやつ」

説明しないとわからない人は…

A esperança é a última a morrer. 「希望は最後まで死なない（最後に残るのは希望）」

A esperança e a sogra são sempre as últimas a morrer. 「希望とお義母（かあ）さんはいつだって最後まで死なない」ポルトガル語のsograは配偶者の母=義母を意味します。ただし、ここでは男性から見た妻の母限定です。ブラジルには、母は常に娘の肩を持ち、ふたりが結託して夫をやりこめるので、妻の母は男性にとっての天敵というステレオタイプの「常識」があります。そこからこの「憎まれっ子世にはばかる」的なジョークが生まれました。確かに政治的に正しくないし、道徳的でもありません。けれども、偏見として切って捨てるのは、彼我の文化の違いを味わってからでも遅くはないでしょう。

委員会報告

国際教養

多国言語文化交流クラス



2月12日(土)
パプアニューギニア
Mr. Terence Kaidaday



3月12日(土)
インドネシア&インドネシア語
Mr. Andy Prakoso

英語プレゼンテーション



1月11日(火)
Mr. Kawayoke Shinichi
"A foolhardy challenge as an entrepreneur in Chicago - Nishikigoi, swimming jewel"



2月1日(火)
Ms. Jayme Price
"New York: It's larger than you think!"



3月8日(火)
Ms. Lisa Zerkowitz
"An Artist Working with Glass & Nature"

ボランティア委員会

ご協力いただき、
誠にありがとうございました

使用済切手収集

皆様からお寄せいただいた使用済み切手を3月31日、富山県ボランティアセンターに届けました。この切手は、医療従事者の海外派遣や人材育成協力、また、現地の草の根活動を側面から支えることに使われます。みなさまのご協力に深くお礼申し上げます。

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
5月28日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座前期 ① 「越中八尾曳山祭り・越中おわら」	35	とやま市民交流館	---	無料	会員
6月4日(土) 13:30~15:00	多国言語文化交流クラス 「イタリア & イタリア語」	24	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
6月7日(火) 18:30~20:00	英語プレゼンテーション "Tales and Ideas from a South African"	24	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
6月11日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座前期 ② 「鉄軌道王国とやま」	35	とやま市民交流館	---	無料	会員
6月26日(日) 13:30~15:30	折紙と七夕短冊作り	20	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
7月2日(土) 13:30~15:00	多国言語文化交流クラス 「米国ニューヨーク州」	24	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
7月9日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座 前期 ③ 「岩瀬まち歩きのポイントとガイドのコツ」	35	とやま市民交流館	---	無料	会員
	富山まつり「越中おわら踊り」	---	城址大通り	合同	未定	会員・外国人
9月	災害時外国人支援語学ボランティア研修会	24	当センター	合同	無料	会員・一般
10月	富山市総合防災訓練参加	---	未定	合同	無料	会員・一般・外国人

講 座 一 覧

● 協会主催講座 ●

No.	講座・クラス名		日 時	受講料他	回数
1	中国語	初級	毎週金曜日	18:30~20:00	会員8,000円
2	韓国語	初級	毎週水曜日	18:30~20:00	会員8,000円
3	韓国語カフェ	上級	毎月第3日曜日	13:30~15:00	会員無料(受付終了)
4		中級	毎月第1木曜日	19:00~20:30	会員無料(受付終了)
5		やり直し	毎月第2金曜日	10:30~12:00	会員無料(受付終了)
6	ポルトガル語 (上級レベル/ブラジルのポピュラー音楽で学ぶ)		毎月1回	18:30~20:00	会員無料 一般300円
7	ボランティアによる日本語		毎週(随時)	随時	300円
8	外国語ボランティア養成 (前期・後期) (英語・中国語・韓国語・ポルトガル語)		第2土曜日	13:30~15:15	会員無料
9	日本語ボランティア養成 (ステップアップクラス)		毎月第2・4木曜日	13:30~15:30	会員無料

● 国際教養委員会主催講座 ●

No.	講座・クラス名		日 時	受講料	回数
1	英語	A Let's Learn English Words and Expressions through the Cultures!	毎月第2土曜日	10:30~12:00	会員無料
2		B 通訳・ガイド実践	毎月第3土曜日	10:10~12:10	〃
3		C ニューズイングリッシュ	毎月第4土曜日	10:10~12:10	〃
4		D Presentation by English Speaking Guest	毎月第1火曜日	18:30~20:00	会員無料 一般300円
5	中国語	入門	毎月第1土曜日	10:30~12:00	会員無料
6		中国語で話してみよう	毎月第2土曜日	10:30~12:00	〃
7		初級ヒアリング	毎月第4土曜日	13:30~15:00	〃
8	ロシア語入門・初級会話		毎月第3土曜日	13:30~15:00	〃
9	日本語ボランティア養成		毎月第2・4木曜日	10:30~12:30	〃
10	多国言語文化交流		毎月第1土曜日	13:30~15:00	会員無料 一般300円
11	中国語集中		---	---	---

※ 日程変更になる場合もありますので、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/> でご確認いただき、協会までお問合せください。
※ 講座・クラスによっては、教材費などの実費が必要な場合もあります。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期または中止になる可能性がありますので、必ず、ホームページでご確認いただき、協会までお問合せください。

第一部 講演 「現在のコロナ下における出入国管理の現状と手続き」

講師 名古屋出入国在留管理局 富山出張所 所長 大塚 修三さん

法務省入国管理局は2019年に入国在留管理局に改組され、各地方出入国在留管理局や支局、出張所を通じて円滑かつ厳格な出入国審査、在留審査、退去強制手続き、難民認定のほか、共生社会の実現に向けた外国人の適正な受け入れ環境整備に関する業務を行っている。



ここ10年右肩上がりに伸びてきた訪日外国人旅行者数だが、2020年初頭からのコロナ禍による日本国政府の水際対策として162か国からの入国が拒否されることとなり、公益上や人道上の特別な理由がある外国人のみがコロナウィルス陰性証明書の提出により入国できることになった。反対に日本から出国できない留学生や技能実習生に対する様々な対策も講じられている。例えば6か月の滞在期間延長や週28時間以内の就労を認めるといったものである。また、観光目的等で短期滞在として入国し、出国できない外国人に対して、日本での生活維持するために理由があれば、週28時間までのアルバイトを認める措置をとっている。一方、日本の永住許可を受けた外国人が再入国許可により国外へ出国後、戻ってくることができない場合には、永住者としての在留資格を失うのだが、今回は、本国等の在外公館にて定住者の査証申請をしてもらうことで上陸時に永住者として入国することが可能な特別措置を行っている。

加えて、政情不安定で帰国できないミャンマー人に対しても緊急避難的に在留継続を認めている。

在留する外国人の様々な状況に外国語で対応するための相談窓口がある。外国人在留支援センター(FRESC)が2020年7月に開所され、現在18言語で対応が可能である。

第二部 在留管理制度等に関する語彙や表現練習
(英語2クラス・中国語・韓国語)

外国人在留支援センター(FRESC)

東京都新宿区四谷1丁目6-1

☎ 0120-76-2029

4省庁8機関が同じフロアに集まり連携して相談に対応

国際交流ウィーク in TOYAMA

共催 (公財)とやま国際センター・富山市民国際交流協会
協力 (独法)国際協力機構北陸センター



ブラジル第3アリアンサ(富山村)
オンライン交流 嶋崎会長とアリーナさん



富山市の観光情報
도야마시 관광정보
韓国水原市オンライン交流



ダーサリ ラメーシュさん指導
インドヨガ体験



世界がもし100人の村だったら



李ヘミンさんと韓国旅行体験(ボードゲーム)



「私の好きな富山」写真展

会員のみなさまへ 会費納入のお願い

- 年会費(1口) 個人3,000円
家族5,000円
法人・団体 10,000円

入会方法

- 協会窓口で申込書に会費を添えてお申込みください。
- 会費振込の場合は、
北陸銀行富山市役所出張所
口座名義「富山市民国際交流協会」
普通預金 No.4076440

編集後記

春といえば「桜前線」。桜の時期は過ぎたが、風流な言葉だ。しかし今年はその響きに様々な思いが伴う。数年前には予想もしなかった感染症や国際情勢の変化が、現在の私達の日常生活や活動、思考に大きな影響を及ぼしている。

けれど桜は何事もなかったかのように、いつも通りに咲いて散る。「変わらない大切なものの」があることに気づく。見失わないようにしたい。

(浦野)